

令和5年度 新潟県立図書館 運営基本指針行動計画に係る評価(案)

1 評価項目(指標)

(1) 地域社会への貢献

指標	目標	実績 ^{4~1月}	見込 ^{2~3月}	計	達成率	評価
ア [行政連携] ギャラリー展示回数	6回	4回	3回	7回	117%	A
イ [行政連携] コーナー展示回数	24回	26回	5回	31回	129%	A
ウ 県庁貸出冊数	120冊	169冊	5冊	174冊	145%	A
エ 越後佐渡DL デジタル化画像数	1,000点	0点	534点	534点	53%	E
オ 越後佐渡DL アクセス件数	12,000件	19,400件	3,880件	23,280件	194%	A
カ 郷土人物/雑誌記事索引DB 収録数	2,500件	481件	3,580件	4,061件	162%	A
キ 郷土人物/雑誌記事索引DB アクセス件数	5,300件	10,417件	2,000件	12,417件	234%	A

(2) 県内図書館への貢献

指標	目標	実績 ^{4~1月}	見込 ^{2~3月}	計	達成率	評価
ア 県内図書館等への協力貸出冊数	17,000冊	9,713冊	3,000冊	12,713冊	75%	D
イ 訪問等回数(研修以外)	20回	11回	3回	14回	70%	D
ウ 高等学校図書館への協力貸出冊数	200冊	486冊	1冊	487冊	244%	A
エ 市町村職員向け研修会等参加人数(訪問研修以外)	200人	282人	65人	347人	174%	A
オ 市町村訪問研修回数	10回	7回	3回	10回	100%	A
カ 訪問研修メニュー数	5			4	80%	C

(3) 県民の生涯にわたる学びへの貢献

指標	目標	実績 ^{4~1月}	見込 ^{2~3月}	計	達成率	評価
ア 入館者数	400,000人	262,468人	53,213人	315,681人	79%	D
イ 個人貸出冊数	450,000冊	344,452冊	69,640冊	414,092冊	92%	B
ウ レファレンス協同DB 登録件数	40件	1件	39件	40件	100%	A
エ SNS への記事掲載回数	120回	112回	24回	136回	113%	A
オ サピエ資料の貸出冊数	260点	193点	18点	211点	81%	C
カ 職員全体研修会の開催(館内)	2回	1回	0回	1回	50%	E
キ 館内研修における職員の発表回数	10回	0回	0回	0回	0%	E
ク 職員の研修・会議等参加平均回数(全体研修除く)	平均2回			平均2.3回	113%	A

2 図書館協議会による評価

上記評価項目について、図書館協議会委員による外部評価を実施する。

令和5年度新潟県立図書館運営基本指針 行動計画評価シート(実績・見込)

資料2

1 地域社会への貢献

・ 定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・ 総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	実績 (～1月)	見込 (2,3月)	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県の行政施策と連携した取組	県各部署とのコラボ展示	<ul style="list-style-type: none"> 県各部署へのPR 展示の実施 「読書お便りコンクール」市町村巡回展示の実施 	ギャラリー展示回数【6回】 前半は県立高等学校や一般県民の利用が中心となった。行政連携展示は主に年度後半に実施した。 <実績・予定> ①7月 「人を守る」というやりがい (自衛隊新潟地方協力本部) ②8月 「ワンヘルス」について (新潟県獣医師会) ③12月 「海洋プラスチックごみ」削減に向けたパネル展 (県資源循環推進課資源環境企画係) ④1月 「拉致問題を考える巡回パネル展」 (県知事政策局国際課拉致問題調整室) ⑤2月 ミニ・生命のメッセージ展/出張バスギャラリーが伝える交通安全展 (独立行政法人自動車事故対策機構新潟主管支所) ⑥2月 ハンセン病パネル展 (県福祉保健部感染症対策・薬務課) ⑦3月 にいがたフォレストリーマガジン写真展 (県農林水産部林政課)	4回	3回	7回	達成率117% 評価 (5) 100%以上	県各部署等との連携により、目標を達成した。次年度以降も行政連携展示により、県施策の県民への周知に取り組む。また、県民利用とのバランスも図りながら、貴重資料展や読書バリアフリー展、新春掛軸展等の所蔵資料展示も引き続き実施し、図書館の魅力発信とギャラリー展示の充実につなげていく。	A	
	特設コーナーにおける県行政施策の広報	<ul style="list-style-type: none"> 施策広報コーナーの整備 パブリックコメント・コーナーの充実 県各部署への周知 展示の実施 	図書コーナー展示に際して展示の様子を撮影した画像や利用状況を連携部局と共有し、双方のSNSやホームページで広報することにより効果的な情報発信に努め、展示図書の利用促進を目指し事業に取り組んだ。 <実績> 4月 政策企画課、新潟県発達障がい者支援センターRISE、県立万代島美術館 5月 県立歴史博物館 6月 総務部行政改革課、県立万代島美術館、新潟県観光協会 7月 県立近代美術館、生涯学習推進課 8月 県立歴史博物館、食品・流通課 9月 障害福祉課、県立万代島美術館、新潟県消費生活センター 10月 県立近代美術館、教育庁総務課 11月 健康づくり支援課、県立歴史博物館 12月 障害福祉課、空港課 1月 新潟県消費生活センター 2月 県立歴史博物館、健康づくり支援課、新潟県消費生活センター	26回	5回	31回	達成率129% 評価 (5) 100%以上	県施策に関する図書のPR展示について県職員専用ポータルサイトで呼びかけを行っており、今年度もコンスタントに申込があった。連携先の希望に合わせて展示を実施するよう調整している。今後も図書展示を実施し、県民の課題解決への支援につなげていく。	A	
	県各部署への情報提供の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 県庁貸出の手续改善 県各部署への周知 	県庁貸出冊数【120冊】	県職員専用ポータルサイトを活用してサービスの周知を実施した。県行政を支える取組として、県各所属や職員への情報提供によるサポート体制の充実を目指し、更なる手続きの簡素化など運用改善を図った。	169冊	5冊	174冊	達成率145% 評価 (5) 100%以上	県庁貸出サービスについて県職員専用ポータルサイトで呼びかけを行っており、貸出冊数は順調に推移している。今後も引き続き周知を図りながら、利用増に向けて取り組んでいく。	A

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績（～1月）				達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
					実績（～1月）	見込（2,3月）	計	達成率・評価				
文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用	新潟県関係資料の積極的収集	<ul style="list-style-type: none"> 出版情報の多角的な把握 積極的収集と展示 書庫等の保存環境の整備 デジタル化も見すえた行政資料の収集・展示の改善 		出版情報の収集から資料を入手して受入するまでの一連の業務の効率化を図るため、作業を細分化し複数の職員で取り組んだ。閲覧室内では、新潟県にゆかりのある人物や物事をテーマにした展示を月ごとに実施し、郷土資料のPRに努めた。						各種の利用促進策に取り組んだ結果、新聞等で取り上げられた資料等の迅速な提供につながり、郷土資料の貸出冊数は昨年同期を上回った。引き続き利用促進に取り組んでいく。		
	越後佐渡デジタルライブラリーの充実	<ul style="list-style-type: none"> デジタル資料の追加 利用環境の整備 利用者へのPR 	デジタル化画像数【1,000点】	今年度は3機関から参加申し込みがあり、11月、12月に各施設に訪問し撮影を行った。撮影画像は3月までにデジタルライブラリーに追加、公開する予定である。	0点	534点	534点 (画像数) (撮影資料点数34)	達成率53% 評価(1) 70%未満	撮影対象の大半が書籍ではなく掛け軸などのものであったことから、撮影資料数に比べ、画像数の方が目標値を大きく下回ることとなった。	E		
			アクセス件数【12,000件】	ホームページの更新に際して、デジタルライブラリーの検索画面へのリンクボタンを図書館トップページに設けた。デジタルライブラリーのトップ画面において、デジタル化資料を様々な切り口で紹介し、PRに努めている。また、11月には併設の文書館主催の講座と連携して、閲覧室内にデジタル化資料の原資料を展示した。	19,400件	3,880件	23,280件	達成率194% 評価(5) 100%以上	デジタルライブラリーの検索画面へのリンクボタンを図書館トップページに設けた結果、目標値を大きく上回った。一方でデジタルライブラリートップ画面への訪問数は減少していることから、魅力的なページとなるよう引き続き検討を重ねていく。	A		
	郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実	<ul style="list-style-type: none"> データの登録 利用者へのPR 	データベース収録数【2,500件】	郷土人物索引、郷土雑誌記事索引のいずれも採録資料を選定し、データ登録を行った。3月に当館ホームページ上において公開する予定である。	481件	3,580件	4,061件	達成率162% 評価(5) 100%以上	目標を超える件数を登録することができた。今後も登録作業を進め、データベースの充実に努めていきたい。	A		
			アクセス件数【5,300件】	ホームページの更新に際して、郷土人物/雑誌記事索引データベースの検索画面へのリンクボタンを図書館トップページに設けた。10月には、「としょかん探偵 データベース活用事例」のページを新設し、第1弾として土田麦僊の検索例を公開し、PRを図った。	10,417件	2,000件	12,417件	達成率234% 評価(5) 100%以上	郷土人物/雑誌記事索引データベースの検索画面へのリンクボタンを図書館トップページに設けた結果、目標を大きく上回った。引き続き活用事例を紹介するなど、コンテンツの質の向上を目指していきたい。	A		

2 県内図書館への貢献

・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組(実施状況)	実績(～1月)	見込(2,3月)	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県内図書館等が実施するサービスへの支援	県内図書館等への協力貸出の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・県民へのPR ・市町村等のニーズ調査と貸出体制の見直し ・小規模図書館等へのセット図書の見直し及び貸出 ・展示用コレクションの貸出 	協力貸出冊数【17,000冊】	従来の制度での協力貸出に加え、市町村立図書館等へのテーマ別図書セット貸出サービスを行った。電子書籍サービスの体験会では、基本的な図書館サービスを説明する場面も多いことから、県民に対して相互貸借についても積極的にPRを行った。	9,713冊(うちテーマ別84冊)	3,000冊	12,713冊	達成率75% 評価(2) 70~80%	活用例の提示等によってテーマ別図書セット貸出サービスの利用増につながったり、電子書籍サービスの体験会にて無料で県立図書館の資料が取り寄せできることのPRを行い利用増につながった部分もあったが、小規模図書館等向けのセット図書の鮮度が落ちており、利用が伸びなかった。	D	
	県内図書館等への訪問の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村図書館等への訪問相談 ・高等学校への訪問相談 ・相談・打合せなど、様々な機会を捉えて訪問の実施 	訪問等回数(研修以外)【20回以上】	訪問により、以下の相談等を行った。 <市町村実績> ①5月 長岡市立中央図書館(オンライン相談)図書館システム ②6月 新発田市立中央図書館(訪問相談)子ども読書計画等 ③7月 刈羽村立図書館(訪問相談)YAサービス等 ④9月 聖籠町立図書館(訪問相談)選書等 ⑤1月 魚沼市立図書館(オンライン相談)新館計画 ⑥2月 田上町地域学習センター(訪問相談)イベント企画等 ⑦2月 新発田市立図書館読み聞かせボランティア研修会(講師派遣) ⑧3月 弥彦村図書館(訪問相談)業務分担等 <高等学校> ①11月 阿賀黎明高校図書館(訪問相談)蔵書点検等 ②11月 東新潟地区司書連絡会(訪問相談)郷土資料等 ③12月 長岡農業高校図書館(訪問相談)蔵書管理等 <その他> ①7月 新潟市立・新潟大学・県立図書館相互協力担当者会議 ②10月 新潟県学校図書館研究大会十日町中魚沼大会(指導者派遣) ③11月 新潟県視覚障害者情報センター事業推進懇談会	11回	3回	14回	達成率70% 評価(2) 70~80%	市町村図書館等からの訪問要望が例年より少なかったこともあり、目標回数を下回る結果となった。次年度以降は更にオンラインの活用を進めて、各館が相談しやすい環境を整えるとともに、引き続き各館の状況に合わせた支援を行い、県内図書館サービスの向上を図っていきたい。	D	
	県立高等学校図書館への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校への訪問相談 ・協力貸出の推進 ・連携事業の実施 	高等学校協力貸出冊数【200冊】	県立学校が当館ホームページ上で操作して、直接資料を予約できるように、システム変更を行った。サービス運用についても、貸出期間の見直しやサービス対象の拡大等の改定を行って、利便性の向上を図った。	486冊	1冊	487冊	達成率244% 評価(5) 100%以上	県立学校向けの広報・物流システムの改善により利用は伸びている。今後もPRに努め貸出実績を伸ばしていきたい。	A	

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績（～1月）	見込（2,3月）	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県内図書館等職員の人材育成	各種研修会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・階層別研修等の実施 ・オンライン研修 ・訪問研修の実施 ・訪問研修メニューの改善 ・参考となる図書の紹介・貸出 	研修会等参加人数（訪問研修以外）【200人】	<p>視覚障害者サービス研修や総合部門研究会は、より多くの参加が得られるようオンラインを活用して実施した。児童部門研究会や中堅・専門研修は、職員講師との調整を踏まえてテーマに合った集合型で開催した。</p> <p><実績・予定></p> <p>①公共図書館新任職員研修会（初日会場23人・オンライン24人、2日目会場25人・オンライン15人）計87人</p> <p>②第1回視覚障害者サービス研修・基礎編 45人（オンライン）</p> <p>③公共図書館児童部門研究会「読みたい気持ちにさせるブックトークの基本と実践」30人</p> <p>④公共図書館中堅職員研修「人をひきつける図書館の空間づくり」34人</p> <p>⑤公共図書館総合部門研究会「図書館とまちづくり」47人（オンライン）</p> <p>⑥第2回視覚障害者サービス研修・サビエ・読書支援機器等紹介編 20人（オンライン）</p> <p>⑦第3回視覚障害者サービス研修・コミュニケーション実践編 20人（オンライン）（予定）</p> <p>⑧公共図書館専門職員研修会「図書館における危機管理」 30人（予定）</p>	282人	65人	347人	達成率174% 評価（5） 100%以上	視覚障害者サービス研修を個別訪問型からオンラインに改めた効果もあり、目標を大きく上回った。次年度以降も、研修テーマ等を踏まえながらオンラインも活用しつつ研修内容の充実を図り、県内図書館サービスの向上につなげていきたい。	A	
			市町村訪問研修回数【10回以上】	<p>以下の研修を実施し、県内図書館の人材育成を図った。</p> <p><実績></p> <p>①資料の修理や保存の基礎（弥彦村公民館図書室）</p> <p>②レファレンス研修・初級編（長岡市立中央図書館）</p> <p>③資料修理や保存の基礎（五泉市立図書館）</p> <p>④レファレンス研修・初級編（十日町図書館）</p> <p>⑤資料修理や保存の基礎（村上市立中央図書館）</p> <p>⑥レファレンス研修・初級編（弥彦村立図書館）</p> <p>⑦レファレンス研修・郷土レファレンス編（長岡市立中央図書館）</p> <p>⑧資料修理や保存の基礎（南魚沼市図書館）</p> <p>⑨資料修理や保存の基礎（十日町図書館）</p> <p>⑩レファレンス研修・郷土レファレンス編（新潟市立豊栄図書館）</p>	7回	3回	10回	達成率100% 評価（5） 100%以上	当初目標を達成した。アンケートを踏まえて各研修を準備・実施したことにより、各館の参加者から好評を得た。今後も、事前・事後アンケートや意見交換等での要望等を踏まえて、より充実した内容の研修を実施できるよう取り組んでいく。	A	
			訪問研修メニュー数【5】	<p>県視覚障害者情報センターとの連携による障害者サービス研修をオンラインで実施したため、訪問メニュー数としては減少する結果となった。一方で、新たに下半期から、地域資料に関する研修をメニューに加えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス研修（初級編） ・レファレンス研修（郷土編） ・地域資料の収集と管理の基礎 ・資料の修理や保存の基礎 	4		4	達成率80% 評価（3） 80～90%	訪問セミナーの内容を再構築して充実を図り、郷土資料に関する研修として新しくメニューに加えることにより、市町村図書館支援の充実を図った。次年度以降は、メニュー数の増加にとらわれることなく、既存の研修内容の充実・向上を図っていきたい。	C	

3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

・ 定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・ 総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	実績 (~1月)	見込 (2,3月)	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県民の読書環境の整備	利用サービスの改善	入館者数 【40万人】 ※コロナ禍の影響を考慮	SNSでの情報発信の更新頻度を上げるとともに、電子書籍サービスの利用をきっかけに直接来館利用にもつながるように体験会では図書館サービスについて全般的に説明を行った。 4月から感染症拡大防止のため制限していた館内設備の利用再開を広報して目標の達成を目指した。	262,468人	53,213人	315,681人	達成率79% 評価 (2) 70~80%	5類に移行したとはいえ感染症が発生し続けている状況の中で、入館者数は昨年度に比べて18,669人増加したが、目標には及ばなかった。 電子書籍サービスやオンラインの利用登録など非来館型のサービスを展開しつつ、来館利用につながるよう取り組んでいきたい。	D	
		貸出冊数 【45万冊】 ※コロナ禍の影響を考慮	資料費の削減に対応しながら令和5年度も引き続き効果的・効率的な選書に取り組むとともに、閲覧室展示では時事的なテーマの展示や県各所属との連携展示を積極的に行い、資料の利用促進を図った。 併せて書架内展示や資料の見せ方の工夫など、魅力ある棚づくりに努めた。	344,452冊	69,640冊	414,092冊	達成率92% 評価 (4) 90~100%	資料収集方針に沿って、より効果的・効率的な選書に取り組むとともに展示等による資料のPRを行ってはいるが、資料費削減の影響はカバーしきれなかった。 今後も可能な限り展示のテーマや見せ方を工夫して所蔵資料の有効活用を図っていききたい。また電子書籍の活用促進にも注力していききたい。	B	
		レファレンス協同データベース登録件数 【40件】	利用者から寄せられた調査相談内容から、主に郷土に関するテーマなど、県民の調査研究活動を支援すると思われる事例や関心が高いと思われる事例を選定して登録している。 今年度は調べ方マニュアルも登録した。	1件	39件	40件	達成率100% 評価 (5) 100%以上	作業に遅れがみられるが、目標は達成する見込みである。 今年度は調べ方マニュアルも2件登録する予定である。	A	
		SNSへの記事掲載回数 【120回】	電子書籍サービスのPRやお勧め本の案内、図書館周辺の景色や自然の移り変わり等を随時発信し、来館利用につなげるように取り組んだ。	112回	24回	136回	達成率113% 評価 (5) 100%以上	当初目標を達成した。 次年度以降も、若年層にも図書館を身近に感じてもらい、来館利用につながるような、SNSの特性を活かした情報発信に取り組んでいきたい。	A	
読書に困難のある県民へのサービスの充実	・新コーナー設置と資料の充実 ・利用者のニーズに合ったサービスの提供 ・サビエ等サービスのPR	サビエ資料の貸出冊数 【260点】	視覚障害者情報センターと連携し実施している「視覚障害者サービス研修」(市町村図書館職員向けの研修)にて、サビエ活用の呼びかけを行った。 電子書籍サービス開始に併せて行っている体験会において、サビエのPRも行った。	193点	18点	211点	達成率81% 評価 (3) 80~90%	電子書籍サービス体験会で利用者の状況を伺いながら説明を行った結果、サビエサービスの利用につながった事例が発生した。 今後もPRを強化していく。 初の対面朗読サービスの利用が発生し、継続利用いただいている。	C	
子どもや若い世代の読書推進	・コロナ対応を踏まえた子ども向けイベントの再開 ・高等学校への協力貸出(再掲)		子ども図書室は4月から入室人数制限を解除した。換気等の感染症対策は継続して実施している。 毎週金曜日に行っているミニイベントは4月から参加者数を制限せず実施した。 県立学校が当館ホームページ上で操作して、直接資料を予約できるように、システム変更を行った。サービス運用についても改定を行って利便性向上を図った。(再掲)					基本的な感染症対策を踏まえつつ、子ども向けイベントの完全再開を目指した結果、ボランティア活動は概ね再開することができた。 これからも子どもの読書活動普及に取り組んでいきたい。		

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績（～1月）	見込（2,3月）	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県立図書館職員 の能力の 育成	職員の研修機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加しやすい環境の整備 ・研修成果の共有と自己研鑽 	職員全体研修会の開催【2回】	6月蔵書点検休館日に2部構成で全体研修を実施した。1部は外部から講師を招き、2部は職員が講師となった。年末年始休館日（1月4日）にも「聴覚障害者とのコミュニケーション方法」についての研修を予定していたが、能登半島地震に伴う復旧作業を優先することとし、研修会は中止した。 <実績> ・6月 第1部：救命入門講習 第2部：電子書籍サービス研修	1回	0回	1回	達成率50% 評価（1） 70%未満	蔵書点検による休館期間中は全員参加が可能であるため、2部構成で全体研修を実施した。 下半期の研修を年末年始休館日（1月4日）に予定していたが、能登半島地震に伴う復旧作業を優先することとし、研修会は中止した。 次年度以降も当館職員の能力向上につながるような研修会を実施する。	E	
			館内研修における職員の発表回数【10回】	上半期はオンライン研修等を活用することで、より多くの職員の受講につなげた。 1月に研修内容を発表する伝達研修会を予定していたが、能登半島地震に伴う復旧作業を優先することとし、研修会は中止した。	0回	0回	0回	達成率0% 評価（1） 70%未満	12月までは研修成果の発表につながる研修の受講に努めた。 1月に研修内容を発表する伝達研修会を予定していたが、能登半島地震に伴う復旧作業を優先することとし、研修会は中止した。 次年度以降は、伝達研修を単発で開催することとし、研修機会を確保するようにしたい。	E	
			職員の研修・会議等参加平均回数（全体研修を除く）【平均2回】	オンラインでの研修環境の整備と受講機会の確保を図り、実績につなげた。 <実績> ・「伝わる広報」研修1名 ・広報スキルパワーアップ研修1名 ・障害者サービス担当職員養成講座（初級）1名(オンライン) ・児童サービス実践研修（館内研修）5名 ・図書館司書専門講座（国社研）1名 ・関東地区公共図書館協議会研究発表大会3名（集合、オンライン） ・2023年度サビエ研修会(オンライン)1名 ・新潟県公共図書館児童部門研究集会1名 ・「図書館等公衆送信サービス」説明会(オンライン)3名 ・生成AIの業務利用に関する説明会1名 ・特別研修「読書のバリアフリーをすすめるために」1名(オンデマンド) ・デジタルアーカイブフェス2023 1名(オンライン) ・Maruzen eBook Library公共図書館向け紹介ウェビナー1名(オンライン) ・生成AI時代の出版と図書館に期待される役割の変化2名(オンライン) ・書店・図書館等関係者における対話の場 1名(オンライン) ・北陸地区公共図書館職員研修会2名(オンライン) ・県内公共図書館中堅職員研修会1名 ・図書館総合展「図書館員向けがじ対策セミナー-基礎編」1名(アカイブ) ・県内公共図書館総合部門研究集会「図書館とまちづくり」2名(オンライン) ・改正障害者差別解消法に係る事業者向け説明会2名(オンライン) ・関東甲信越・静地区図書館地区別研修1名 ・国立国会図書館レファレンス研修「人文情報の調べ方」1名(オンライン) ・社会教育施設の整備・運営等に関するセミナー1名(オンライン) ・全国公共図書館研究集会 児童・青少年部門（長野市）1名 ・京都図書館大会「デジタル社会と図書館 電子書籍サービスから考える」2名(アカイブ) ・特別研修「DXの推進により変化する社会のゆくえ」1名(オンライン) ・国立国会図書館遠隔研修「NCR2018年版のポイント」(アカイブ)			平均 2.3回	達成率113% 評価（5） 100%以上	オンラインの活用により、全国規模の研修等への参加機会が格段に得やすくなったこともあり、目標を達成した。 次年度以降も引き続き参加機会を確保して、当館職員の能力向上につながる研修の参加機会を確保するよう努めていきたい。	A	

新潟県立図書館運営基本指針（令和3年度～令和5年度）

1 地域社会への貢献

地域に向き合い、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現を支えます。

○県の行政施策と連携した取組

- ・県の行政施策をテーマとした展示の開催
- ・県の重点施策と関連した図書コーナーの設置
- ・県作成のポスター、パンフレット等の掲示・配布

○文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用

- ・郷土資料の積極的収集・保存
- ・越後佐渡デジタルライブラリーの充実
- ・郷土人物／雑誌記事索引DBの充実

2 県内図書館への貢献

県内図書館相互で顔が見える関係づくりをし、図書館サービスの向上に取り組みます。

○県内図書館等が実施するサービスへの支援

- ・県内図書館等の貸出サービスへの支援
- ・県内図書館等への訪問事業

○県内図書館等職員の人材育成

- ・県内図書館等職員対象の各種研修の開催

3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

誰もが尊重される共生社会の実現を目指して、県民一人ひとりの「知りたい・読みたい」を応援します。

○県民の読書環境の整備

- ・読書が困難な県民のための利用環境整備
- ・子どもや若い世代向けの読書推進の取組

○県立図書館職員の能力の育成

- ・県立図書館職員の幅広い分野の研修、セミナー等への派遣

新潟県立図書館運営基本方針(令和6年度～令和8年度) (案)

資料 4

基本方針1 地域社会への貢献 地域に向き合い、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現を支えます。

重点目標 ① 県の行政施策と連携した取組

具体的取組	指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
1 県の行政施策をテーマとしたギャラリー展示の開催	県立図書館を利用した所属数	/	7所属	32所属	34所属	36所属	展示についてはスペースや期間等の制約があるため現状維持とする。 図書貸出についてはPRを強化して利用増を目指す。
2 県の重点施策と関連した図書コーナーの設置			14所属				
3 県所属への図書貸出の実施			14所属				

※90所属のうち、30所属が利用

重点目標 ② 文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用

具体的取組	指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
4 新潟県関係資料の積極的収集と活用	/	/	/	/	/	/	/
5 越後佐渡デジタルライブラリーの充実	越後佐渡デジタルライブラリーのアクセス件数	12,000件	23,280件 ※システム更新によるカウント数変更があったためR5実績のみ記載	23,500件	23,750件	24,000件	事業開始から現在までに蓄積したデータの利活用に重点を置いて取り組んでいく。 また、定期的な利用を促すためのコンテンツとして、特定の資料にスポットを当てて紹介するコーナーを展開する等、親しみやすいページ作りに取り組むとともに、現在公開している情報についても内容のさらなる充実を図り、利用の増加に繋げる。
6 郷土人物/雑誌記事索引DBの充実	郷土人物/雑誌記事索引DBアクセス件数	5300件	12,400件 ※システム更新によるカウント数変更があったためR5実績のみ記載	12,600件	12,800件	13,000件	引き続きデータの集積に取り組みスケールメリットを追求するとともに、新規データの公開時にはSNSを活用した広報を展開しアクセス件数の増加を目指す。 また、郷土に関する調査研究活動に有効なデータベースであることをPRし定期的な利用者の増加に繋げる。

基本方針2 県内図書館への貢献

県内図書館相互で顔が見える関係づくりをし、図書館サービスの向上に取り組みます。

重点目標③ 県内図書館等が実施するサービスへの支援

具体的取組	指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
7 県内図書館等の貸出サービスへの支援	県内図書館等への協力貸出冊数	17,000冊	③15,018冊 ④14,362冊 ⑤12,713冊	13,000冊	13,000冊	13,000冊	資料費の削減により、購入資料点数が減少し、小規模図書館等セット図書の買い替えができないなど、厳しい状況である。 手続きの簡便化や広報を強化することで、利用の継続を図る。
8 県内図書館等からの相談対応							
9 高等学校図書館への支援	高等学校図書館への協力貸出冊数	150冊	③108冊 ④442冊 ⑤487冊	500冊	500冊	500冊	電子書籍の利用促進と共に、紙媒体の資料の貸出についても手続きの簡便化や広報を強化することで利用の継続を目指す。

重点目標④ 県内図書館等職員の人材育成

具体的取組	指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
10 県内図書館等職員対象の全体研修の実施	全体研修会・研究集会の参加人数	200人	③188人 ④295人 ⑤347人	350人	350人	350人	県立図書館の基幹業務である市町村図書館等の支援に引き続き取り組む。
11 県内図書館等職員対象の個別研修の実施(メニュー数4)	個別研修の実施回数	10回	③12回 ④15回 ⑤10回	10回	10回	10回	県立図書館の基幹業務である市町村図書館等の支援に引き続き取り組む。

※③令和3年度④令和4年度⑤令和5年度

基本方針3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

誰もが尊重される共生社会の実現を目指して、県民一人ひとりの「知りたい・読みたい」を応援します。

重点目標 ⑤ 県民の読書環境の整備

具体的取組	指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
12 県民の読書環境の整備	入館者数	400,000人	③296,418人 ④297,012人 ⑤315,000人	400,000人	400,000人	400,000人	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、入館者数が回復傾向であることから、R5目標値の40万人とする。一方で、休館日が増えることや資料費の削減等を考慮して、その目標値の維持を目指す。
	個人貸出冊数	450,000冊	③457,894冊 ④435,724冊 ⑤414,000冊	415,000冊	416,000冊	417,000冊	子育て応援の取り組みを進めることにより、利用増を目指す。
	電子書籍閲覧回数		27,000回 (R5.7～R6.3見込)	36,000回	36,000回	36,000回	コンテンツ数の大幅な増加が見込めないが、非来館型サービス充実のため、PRIに努めて利用数を維持する。
	県内の読書バリアフリー環境の充実						
13 県民の調査研究活動の支援	レファレンス協同DB登録件数	40件	③32件 ④40件 ⑤40件	40件	40件	40件	郷土に関するテーマや県民の役に立つもの、汎用性があり調査研究活動を支援と思われる事例を選定して登録していることから、目標値は現状維持とする。
14 読書による子育て応援	絵本、児童書、紙芝居の貸出冊数		78,000冊	79,000冊	80,000冊	81,000冊	子育て応援の取り組みを進めることにより、利用増を目指す。
15 SNSによる情報発信	SNSの投稿回数	120回	③65回 ④124回 ⑤136回	120回	120回	120回	若年層にも図書館や読書に関心を持ってもらえるように、お勧め本の紹介や周辺景観の話題等も合わせて積極的に発信していく。

重点目標 ⑥ 県立図書館職員の能力の育成

具体的取組	指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
16 職員の研修機会の充実	外部講師による研修の参加回数	40回	③49回 ④42回 ⑤43回	40回	40回	40回	県立図書館職員のスキルアップが市町村図書館等支援の充実にもつながるため、司書職員全員が研修に参加できるよう環境を整備して取り組む。目標値は、司書正職員一人当たり2回以上研修に参加する回数を設定し、これを維持していく。
	職員が講師を務める館内研修の実施回数		2回	4回	4回	4回	それぞれの職員が、担当する業務などで得た知識について発表し、共有することで県立図書館職員のスキルアップを図る。目標値は4回(四半期に1回)とし、これを維持していく。

※③令和3年度④令和4年度⑤令和5年度

新潟県立図書館の電子書籍サービスについて

社会のデジタル化に対応し、県民が居住地や開館時間に左右されずに快適に利用できる読書環境を整備するため、電子書籍サービスを導入しました。

<7月11日（火）運用開始>

1 コンテンツ数と内容

- (1) コンテンツ数は、3,938点です。
- (2) コンテンツの内容は、仕事に役立つ実用書や専門書、趣味や教養書などを中心に幅広く揃えました。
- (3) 1人1台端末で利用しやすい環境にある高校生向けに、参考書や問題集、各分野の入門書など、生徒の学習を助ける本もあります。

2 利用状況

	R5.7	8月	9月	10月	11月	12月	R6.1	計
閲覧回数	4,849	3,653	2,587	2,628	2,388	2,344	1,870	20,319

3 利用促進の取り組み

県民に電子書籍の利点を知っていただき、活用していただくため、市町村立図書館等や関係機関（県立学校等、新潟県視覚障害者情報センター）と連携し、対象に応じた利用促進策を展開しています。

(1) 県民向け

- ・電子書籍体験会
県立図書館の司書が、市町村の図書館等を訪問して電子書籍サービスの利用方法を紹介する体験会を実施
- ・電子書籍サービスの利用方法を紹介した動画を作成し、ホームページで公開
- ・利用登録のオンライン化

(2) 県立学校向け

- ・全ての県立学校（高校、中等教育学校、特別支援学校）に対し、電子書籍の利用方法を紹介するとともに、体験用ID/PWを配布
- ・学校での活用を希望する県立学校には、全生徒分のID/PWを配布
- ・高等学校司書連絡会等において、電子書籍サービスの利用方法について説明

(3) 障害のある方向け

- ・新潟県視覚障害者情報センターと連携し、新潟ふれ愛プラザにおいて電子書籍体験会を実施
- ・新潟よつば学園において、サービス概要等について説明

令和6年能登半島地震の被害と復旧について（報告）

【令和6年能登半島地震】

発生時刻	令和6年1月1日（月）	16時10分頃
震源地	石川県能登地方	マグニチュード7.6
最大震度	7（石川県志賀町）	新潟県内・長岡市6弱 新潟市中央区 5強

1 地震による被害状況等

(1) 施設及び資料等

① 施設

書架の転倒（閲覧室内の書架1基）

② 資料

郷土・一般資料、絵本・児童書等が書架から落下し、散乱
（閲覧室約1,000冊、書庫約20万冊）※落下による破損資料 約5,000冊

③ 人的被害等はなし

(2) サービス制限等

① 公開書庫の中止

② 書庫の予約資料の一部利用制限

③ 書庫資料を使用する調査相談の一部制限

④ こども図書室・毎週金曜日の定例イベント中止（1月5日）

2 復旧の状況等

- ・1月1日 現場確認、関係各方面に状況報告
- ・1月4日 復旧作業開始
閲覧室書架の復旧終了
書架転倒エリアと書庫は一般利用者の立ち入り禁止として復旧作業開始
- ・1月5日 開館
併設施設職員の協力も得て復旧作業を継続
復旧完了したエリアの資料から順次利用を再開
書架転倒エリアの復旧作業終了し、16時に立入禁止を解除し利用再開
- ・1月12日 こども図書室の定例イベントを再開
- ・2月2日 書庫の復旧作業完了
※公開書庫は引き続き休止し、資料落下防止等の安全対策を検討中
※落下による破損資料の修理は継続中

3 県内図書館等の被害状況

5館で施設の損傷や資料の落下による被害あり（臨時休館等はない）。

各館の被害状況等をホームページ等で確認しつつ、電話での聞取等によりまとめた結果を情報共有。支援要請等あれば県立図書館へ連絡する旨を伝達（支援要請はない）。

4 その他

日本図書館協会、国立国会図書館、都道府県立図書館等からお見舞いと励ましの言葉や、支援の申し出等をいただいた。

新潟県立図書館の管理・運営のあり方の検討状況等について

3 簡素で効率的な行政体制の構築

(1) 文教施設の見直し

- 県直営の文教施設について、県民サービス向上や利用者増に向けた効果的・効率的な管理運営手法等を検討・実施

少年自然の家	<p>➤ 指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活かした運営体制を整備 [R7.4導入予定]</p> <p>民間ノウハウを活用した体験プログラムの開発や施設運営により、サービスの向上や利用者の増加を図るため、指定管理者制度を導入</p>
県立図書館 生涯学習推進センター 文書館	<p>➤ 3施設の一体的運営と生涯学習推進センターの体制見直し [R6.4実施予定、一部はR5.4より先行実施]</p> <p>館長の兼職や庶務機能の一元化など、3施設を一体的に運営するとともに、生涯学習推進センターの人材育成と広報啓発に関わる2部門を統合</p>

出典：「令和6年度新潟県当初予算案の概要（令和6年2月）」から抜粋